

令和4年度 放課後等デイサービス事業者自己評価調査結果

調査年月日 : 令和5年1月16日～令和5年1月27日

調査方法 : 調査表

調査対象数 : 放課後等デイサービス職員 19名

		項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 記入不備	改善目標 工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員がスペースの関係で適切であるか	9	7	3	0	・1F、2Fとあるので、状況により、使い分けができる ・児によっては1人になりたい時や集中したい時に距離をとるものの、完全に分けるのが難しい時がある
	②	職員の配置数は適切であるか	7	8	4	0	・職員間の連携が常にできるように、適切な指示がだせるようになることが改善目標 ・休みがあると人手不足と感じる ・曜日によるが、少なく感じることもあり、担当児童に手一杯になり、周囲に目を向けづらいことがある ・少ない日がある ・現状において可能な配置は行っているが、目標に向けた支援には、人員不足を感じる
	③	事業所の設備等は、バリアフリー化の配慮が適切になされていますか	9	6	3	1	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参画しているか	13	6	0	0	
	⑤	アンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	11	7	1	0	
	⑥	自己評価の結果を公開しているか	8	10	1	0	
適切な 支援の提供	⑦	外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	11	3	0	・していく必要があると思う
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	15	4	0	0	・研修での意見交換等により、新たな気づきが得られる ・しているが少ないと思う ・定期の研修会には必ず参加している
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	12	7	0	0	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	13	1	0	・評価の手段は、主に観察や支援結果に対する考察である
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	15	4	0	0	・毎日のミーティングにて、報告・改善が行われている ・個人での立案が多い

		項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 記入不備	改善目標 工夫している点など
適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11	8	0	0	・毎日のミーティングにて、報告・改善が行われている ・個人での立案が多い ・月1回のペースで支援状況に対するまとめと考察を行っており、改善点の検討をしている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	12	7	0	0	・きめ細やかには難しいが、その時に合わせた支援をしていると思う ・普段から関わりをもつ児には、土曜や長期休暇時の利用に達成基準を設け重点的に支援を実施するなどの工夫を行っている
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	15	4	0	0	・作成できているが、職員が全て把握できていない ・特性に応じて、自然と個別・集団を分けてはいるが、それぞれを意識して設定しているわけではない
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	18	1	0	0	・正職員だけでなく、途中から支援に入るパート職員とのミーティング・確認も行われている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	14	5	0	0	・ひやり・ハットなど重要なことは、支援終了後に共有し、翌日のミーティングにて完全等に向けた話し合いがなされている ・翌日の朝行っている
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	17	2	0	0	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	14	4	0	1	・月1回の実施
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6	10		3	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	14	4	0	1	
	㉑	学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか	14	4	0	1	・送迎時に学校からの情報を事業所に着く前に連絡し、対応を考える ・送迎時、学校の先生や保護者の方と顔を合わせて受け渡しを行っている ・トラブル発生時は、すぐに上司に報告するように気をつけている ・送迎時に情報共有を行い、気になることは電話をしている ・主に送迎時に情報交換している
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	12	0	3	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	10	3	1	・新規の利用児には、情報収集のため、保育園や学校等に連絡を取っている ・主な情報は、家人のことが多いように感じる
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	11	7	0	1	

		項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 記入不備	改善目標 工夫している点など
関係機関 や保護者との連携	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	9	3	1	・昨年、研修やミーティングが行われ、参加できた ・会議の場でしかない
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	7	4	1	・コミュニティーセンターに行っている ・一部の児は、児童館へ行く日を設けている
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	11	5	1	・声が掛かれれば参加する意思はある
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	16	2	0	1	・連絡帳を活用したり、送迎時に伝え合っている
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	14	4	1	・保護者との関係を深めていきたい ・送迎時には話し合っている
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	8	0	1	
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	16	2	0	1	・質問された際、受け答えが未熟に感じる部分は、上司に相談してから対応するようにしている ・都度、行っている
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	15	2	1	1	・今年度、茶話会が開かれた ・次年度は話合いの茶話会だけでなく、色々な会を開いてもいいのではと思う ・次年度、茶話会3回開催予定
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	1	0	1	
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	16	2	0	1	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	16	2	0	1	
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	16	2	0	1	・絵カードやスケジュールボードを活用している
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	8	5	1	・コロナの為、現在、行っていない ・コロナの為、スマイルフェスタ中止

		項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 記入不備	改善目標 工夫している点など
非常時等の 対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	8	1	1	・保護者への周知が徹底されていないように感じる
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	8	1	1	・職員だけではなく、長期休暇中に児童も参加して行えるといいと思う
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	10	0	1	・虐待防止の研修を法人内でもする必要があると思う
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	11	2	1	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	10	1	1	・事業所内に食物アレルギーの児童はいない
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	16	2	0	1	挙がって来る件数が少なく感じる

自己評価の結果に対する総評

今年度、各項目において、様々なコメントがあった。職員間の意思疎通や共通理解に関しては、概ね滞りなく行えていると評価している職員が多い。法人、事業所としての取組みに関しては、周知不足が感じられる評価が多いため、法人内での会議や研修等の内容を工夫し、実施する必要性を感じている。また、ペアレントトレーニングの項目への評価が低くなっているが、それらの理解度が低いように感じられる部分もあるため、研修等を通して基礎理解が高まるようにしていきたい。